



～新年おめでとうございます～

日本産業カウンセリング学会 会長 桐村 晋次

おだやかな、そして希望に充ちた新年をお迎えのことと思います。日本産業カウンセリング学会と全国の学会員の皆様にとって、新しい年が幸せと飛躍の年になりますように祈念しております。

昨年は、9月に近畿支部主催で大阪の追手門学院大学において「第15回大会」が成功裡に開催されました。松原、木村両会長経験者からは「内容の充実した良い大会だった」というお言葉をいただき、多くの参加者からも「よく準備され、素晴らしい勉強の機会になった」という声が聞かれました。準備委員会の皆様、どうも有難うございました。

学会の主要な課題のひとつである「学びのための地域格差を解消する試み」も、着実に進んで参りました。東京、近畿、東北、名古屋に続いて、昨年7月には金沢(北陸)、福岡(九州)、11月に札幌(北海道)で学習会がスタートしました。

私達の能力開発には、「新聞・テレビ・インターネットを見る」「文献や資料を読む」ということが主な手段になっていますが、カウンセリングの学習には直接に人と人が出会って「自分の意見を表明し、人の意見を聞く」「自分の研究や体験をまとめて発表する」「講師に直接に質問したり、参加者の討議によって理解を深める」ことが大切です。

専門家や指導者(メンター、キャリアモデル)に教えてもらったり、講習会に出席したりすると同様に、仲間が集まって読書会(輪読会)をしたり、カウンセリングのケース研究会をしたり、情報交換をしたりして、いっしょに育っていく「共育集団」の存在は、とても重要です。そう考えて、全国に学習会の場を準備してきました。2月19日には、学会として8番目の中国・四国学習会を広島において開くことが出来るようになりました。

「近畿、名古屋、北陸」「九州・中国・四国」「東京、東北、北海道」は各ブロックで相互に連絡を取りあって開催し、講師やテーマの重複をさける工夫をすると、相乗効果が出てくるのではないのでしょうか。学会事務局から発信する学習会の案内も隣接する地域には出しておりますので、その趣旨にそって学習会を活用して下さい。ホームページや3ヶ月に1回発行されるニュースレターの関連記事にご留意下さい。2月には、名古屋(第4回)、九州(第2回)、その他の地区でも開催準備が進められています。

次に、新年の試みとして、第15回大会やニュースレター(No.30、平成22年10月30日発行)にご案内しました「学会特別セミナー」が初めて開催されます。第1回(1月8、9日)、第2回(2月5、6日)の4日間にわたり、学会の12名の先生方によるもので、産業カウンセリングのレベルアップを狙いとした画期的な試みです。参加のための旅費等を考慮し、会員の参加料を遠隔地ほど安く設定しました。

これも「学びのための地域格差を解消する試み」の趣旨にそったものです。

今年の夏、第16回大会は東京で開催します。学会はボランティアによって運営されていますので、今大会も多くの人の手助けが期待されます。出来るだけ楽しい大会にしたいものです。全国から多数の人々が参加され、懐かしい再開があることを楽しみにしています。

サテライト研究会 in 中部

多様化する現代のうつ - 病前性格から治療・予防まで

当学会研究委員会では、平成 22 年度のテーマとして「多様化する現代のうつ」を掲げ、シンポジウム等を開催してきましたが、この研究会についての開催要請が中部地区学習会からあり、それにお応えして開催するものです。「現代のうつ」について研究と実践の立場から最先端の情報を提供します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

つきましては、申込書に所定の事項をご記入の上、2 月 15 日（火）までに FAX または e-mail にてお申し込みください。（定員になり次第締め切らせていただきます）

1. 日 時：平成 23 年 2 月 20 日（日）12：30 開場、13：00 開会～17 時終了予定

2. 場 所：名城大学名駅サテライト

3. テーマ及び講師：

(1) 「多様化する現代のうつー病前性格から治療・予防まで」

講師：神庭重信先生（九州大学医学研究院精神病態医学分野教授、うつ病学会双極性委員会委員長）

※多様化する現代のうつについて、病前性格とうつ病像の連関、最近の生物学的知見、多様性に対応し他治療の必要性等の面からあらためて精神医学的な見地からレクチャアいただきます。

(2) 事例報告

報告者：廣川 進先生（大正大学臨床心理学科准教授）

※診断書上「うつ病」と書かれているケースの多様性と対応の困難さについて企業での実践経験をベースとして事例報告します。

4. 定 員：100 名

5. 会 費：当学会会員 1,000 円
非 会 員 4,000 円
学 生 1,000 円
(当日徴収いたします)

6. 申込方法：

別紙参加申込用紙を下記学会事務局へ

FAX またはメールでお願いします。

FAX：03 - 5228 - 4418

e-mail：info@jaic.jp



中国・四国地区学習会のご案内

このたび中国・四国地区初のキャリアに関する学習会を開催することになりました。

加入組織や資格取得団体の枠を超え、志高きものが学べる自己研鑽の場としてご活用いただくとともに、異なる地域や職業に従事されている方々の情報交換・ネットワークづくりのための名刺交換会も予定しております。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

つきましては、申込書に所定の事項をご記入の上、2月14日（月）までにFAXまたはe-mailにてお申し込みください。（定員になり次第締め切らせていただきます）

1. 日 時 平成23年2月19日（土）13:00～17:00 12:30 開場、13:00 開会
16:30～17:00 名刺交換会及び施設見学（自由参加）

2. 場 所 （独）雇用・能力開発機構 広島センター 本館3階ホール
広島市中区光南5-2-65（下記案内図のとおり）
TEL: 082-245-0267

3. テーマ及び講師

(1) 「快適職場をつくる産業カウンセリング」

～働く人のための「厚みと広がり」を持ったキャリア・コンサルティングのために～
木村 周先生（当学会 名誉会長、元筑波大学教授）

著書「キャリア・コンサルティングー理論と実際」、「人を育てる中小企業」

(2) 「働く人のアイデンティティの確立と再構築ー中年期・現役引退期の壁を超えるー」

青年期の重要な発達課題であるアイデンティティの確立。中年期の危機、離転職や老年期の対象喪失等の状況変化に対応したアイデンティティの再体制化についてお話いただきます。

岡本祐子先生（広島大学大学院教育学研究科教授・教育学博士・臨床心理士）

著書「アイデンティティ生涯発達論の展開」、「アイデンティティ生涯発達論の射程」

4. 定 員 130名

5. 会 費 当学会会員無料、非会員3,000円（当日徴収いたします）

6. 申込方法 下記学会事務局へFAXまたはメールにて申し込みください。

◎申込&問合せ先 日本産業カウンセリング学会事務局
TEL & FAX 03-5228-4418 e-mail info@jaic.jp

◎会場までの交通機関のご案内

【バス】広島駅前3番乗り場、又は本通りバス停

広島バス 24番系統 平和公園経由吉島営業所
行き広島バス本社前（ポリテクセンター広島前）
下車

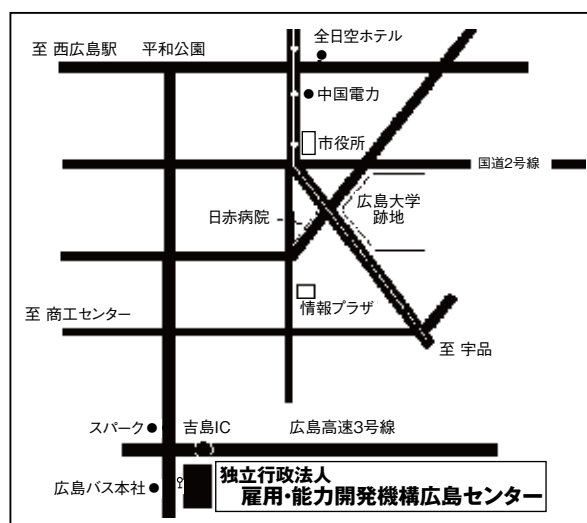
※同じ24番系統 吉島病院行きには乗車しないでください。

【車】※工事のため駐車場に限りがあります。（30台のみ）

※最寄りの交通機関をご利用ください。

・国道2号線の住吉交差点または平和大通りの平和公園前交差点を南へ直進。

・広島高速3号線吉島出口を左折。



主 催：日本産業カウンセリング学会

後 援：独立行政法人雇用・能力開発機構 広島センター
NPO 法人中国キャリアコンサルタント研究会

第二回九州地区学習会のご案内

九州地区での第二回学習会開催について、ご案内申し上げます。

加入組織や資格取得団体の枠を超え、志高きものが学べる自己研鑽の場としてご活用いただくと共に、異なる地域や職業に従事されている方々との情報交換・ネットワーク作りのための名刺交換会も予定しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

つきましては、申込書に所定の事項をご記入のうえ、2月21日（月）までにFAXまたはe-mailにてお申し込みください。（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

1. 日 時 : 平成23年2月26日（土）13:00～17:00
12:30 開場 13:00 開会 16:30～17:00 名刺交換会（自由参加）
2. 場 所 : 独立行政法人 雇用・能力開発機構 福岡センター 7F 大会議室
福岡市博多区冷泉町5-32 オーシャン博多ビル 7F
TEL（当日の問い合わせ先）090-4352-7879（徳永）

3. テーマ及び講師 :

(1) 「増加するうつ病の理解と対応（従来型のうつ病と新型うつ病）」

緒方 一子 氏（臨床心理士、企業内カウンセラー）

企業内のカウンセラーとして豊富な経験をお持ちの講師の講話と質疑応答によって、うつ病の理解と難しいと言われている対応について相互に学ぶことを目的としています。

(2) ケース研究

会員のケース発表と質疑応答により、事例への取り組み方と学習の方法について相互学習を進めたいと思います。積極的な参加と発表をお願い致します。

4. 定 員 : 65名

5. 会 費 : 当学会会員無料、非会員 3,000円（当日徴収いたします）

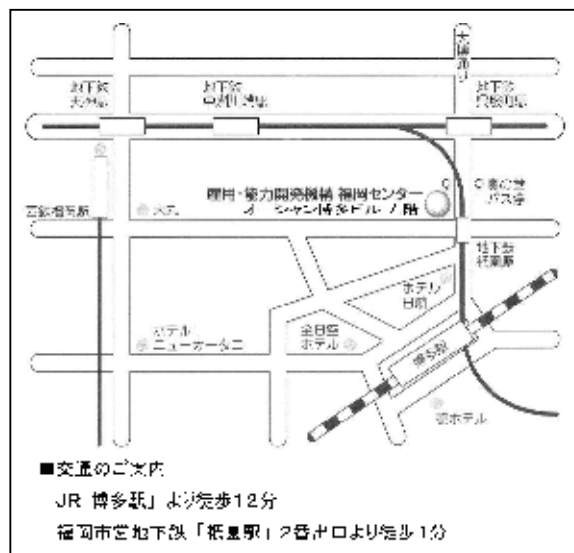
6. 申込方法 : 別紙参加申込用紙を下記学会事務局へFAXまたはメールでお願いします。

FAX: 03-5228-4418

e-mail: info@jaic.jp

<学習会幹事>

徳永 拓己、白濱 文子、佐々木 裕子



第1回 特別セミナーレポート

NEWS LETTER NO.30でお知らせした特別セミナーの第1回目が、さる1月8日(土)9日(日)の二日間にわたって開催され、北海道から九州までの全国各地から参加された80名の方が熱心に受講されました。

特別セミナーの講義内容は下記の『特別セミナー 各科目の概要と参考文献・図書のご紹介』に記されたとおりです。今回の特別セミナーは初回ということもあり、第1講は「欧米諸国の雇用戦略—イギリス、オーストラリアの現地調査から—」と題して当学会前会長の木村周先生に、締めくくりの講義は「自己効力感を高める生活分析的カウンセリング」と題して元会長の松原達哉先生にお願いしました。これらの内容からお分かりいただけるように両先生はもちろんのこと、講師を務めていただいたどの先生も、ご自身の実践と研究に支えられたエビデンスに基づく幅広くかつ深い内容のレクチャーをされました。また、個人間に留まることなく、個人・組織・社会の関係性の中でのカウンセリングの適用という点で各レクチャーに相通じるものがあり、受講された方々も産業カウンセリングに係るご自身の立ち位置を振り返ることができたのではないかと思います。

事務局の立場ではありますが、第2回特別セミナーも待ち遠しいほどに非常に楽しみです。(事務局長)

特別セミナー 各科目の概要と参考文献・図書のご紹介

(注) A,B,Cは各科目時間割を表します。 A:10時~12時、B:13時~15時、C:15時15分~17時15分

第1回 特別セミナー

(第1日) 平成23年1月8日(土)



A 欧米諸国の雇用戦略—イギリス、オーストラリアの現地調査から—
東京成徳大学 当学会前会長 木村 周

これまで産業カウンセラー、キャリアカウンセラー、キャリアコンサルタントなどの主要な活動と関心事項は、クライアントに対して「何を、如何に」支援するかに集中してきました。しかし、今日教育、雇用、能力開発のどの分野でも、それは一国の雇用政策や制度に深く関わっている。支援者の「役割、機能、目標の拡大」が求められています。

本講では、1990年代後半から最近まで OECD, EU が新たに掲げた雇用戦略「積極的労働市場政策」の要点を整理し、その後の成果と問題を考察します。オーストラリア、イギリスについては、短期間ですが現地を訪問して得た知見を紹介いたします。

講義の項目は、次の通りです。

1. 職業紹介機関の沿革、機能、労働力需給システム
2. OECD, EU の積極的労働市場政策
3. オーストラリアの積極参加モデル、イギリスのニューディール政策

我が国においても若年者、長期失業者、高齢求職者、障害者など特別に支援を必要とする人への産業カウンセラー、キャリア・コンサルタントなどの新たな支援が求められています。皆さんとともに就職支援の「不易と流行」を考えたいと思います。

参考文献は、厚生労働省ホームページ各年の「海外情勢報告」労働政策研究・研修機構 Business Labor Trend 各月。



B 現代キャリアガイダンス論と
具体的取り組み
(独) 労働政策研究・研修機構 下村英雄

このテーマでは、現代キャリアガイダンス論とその具体的な取り組みを取り扱います。1990年代の後半からヨーロッパを中心に伸長の著しい最近のキャリアガイダンスに関する議論は、日本のキャリア形成支援を考えるにあたっても有益な視点を提供する。にもかかわらず、これまで、最近のキャリアガイダンス論はまとまった形で日本に紹介される機会が少なかった。そこで、まず、①最近のキャリアガイダンス論が従来のキャリアガイダンス論とどのような面で異なるのか、その特徴を論じる。②次に、最近のキャリアガイダンス論の論点として、デリバリー論、セグメント論、コスト&ベネフィット論、ファンディング論、スタッフィング論、ツール論などの議論を紹介し、日本のキャリアガイダンス論との接点を論じます。最後に、③今後の日本のキャリア形成支援のあり方とその具体的な取り組みについて検討します。

なお、本テーマを理解するにあたって、受講者には、以下の日本語文献を読むことが望まれます。労働政策研究・研修機構ディスカッションペーパー 10-06 「最近のキャリアガイダンス論の論点整理と成人キャリアガイダンスのあり方に関する論考」(<http://www.jil.go.jp/>

[institute/discussion/2010/10-06.htm](http://www.jil.go.jp/institute/discussion/2010/10-06.htm))。

また、英語文献としては、OECD (2004) Career Guidance and Public Policy: Bridging the Gap (<http://www.oecd.org/dataoecd/33/45/34050171.pdf>)

このテーマでは、いわゆる産業カウンセリングを包含するキャリアガイダンスの体制や運営に関する論点を中心に取り扱うので、理想的なキャリアガイダンス体制とはどのようなものかについて、国、地域、企業(または大学)など様々なレベルで自身の考えを整理しておくことが望ましい。



C 職業カウンセリングの実例研究
(独) 労働政策研究・研修機構 榎野 潤

このレクチャーでは、職業カウンセリングを「クライアントの過去・現在の仕事上の経験の振り返りと、それらの経験をもとにした未来の仕事の展望づくりを支援すること」と考えます。仕事上の経験とは、職務経験、職種や配置の転換、離・転職などの実際に起こった出来事、つまり事実であることから、職業カウンセリングは「事実に基づいて未来を見通す」支援ということになります。

この考え方の背景にはコンテキスト主義という考え方があります。職業カウンセリングの大前提として、「人と仕事のマッチングを支援する」という考え方がありますが、伝統的な職業カウンセリングの理論では、このマッチングを検討する際、人と仕事を分けて考えます。たとえば、パーソンズ(Parsons, F.1854-1908)は、「人と仕事の特徴について、それぞれ客観的に把握し、それらの間の関係を合理的に検討する」という考え方をします。また、スーパー(Super, D.E.1910-1994)は、「自分らしさ(これを自己概念と言うのですが)を実現するために仕事を選択する」という考え方をします。どちらも人と仕事を分けて検討するという視点は一緒です。

コンテキスト主義では、「人は、地域、職場、家族などの多様な社会的システムに組み込まれているので、環境と切り離して自分自身について考えても、あまり意味がない」という考え方をします。そして、人と環境の相互作用により実際に起こった出来事を整理することにより、環境における自分自身の役割を理解したり、実現性の高い仕事の選択や就職してからの職場適応について見通しを持つことができると考えます。

研究アプローチとしては、職業カウンセリングが主に言語活動によって行われることから、言語活動の分析を通して、職業カウンセリング技法を研究するというアプローチをとります。実例研究としては、労働政策研究・研修機構『職業相談におけるカウンセリング技法の研究』(2007)・『職業相談におけるアクションリサーチ』(2009)の報告書を参考とします。

これらの報告書は、独立行政法人労働政策研究・研修機構のホームページからダウンロードできます。前者の報告書は、<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2007/091.htm> 後者の報告書は、<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2009/0107.htm>

後者の報告書のp.19~p.23では、伝統的な理論と比較しながらコンテキスト主義について説明をしています。この部分を事前に読んでおくと、レクチャーの理解がより進むと思います。

(第2日) 平成23年1月9日(日)



A 企業・組織におけるカウンセリング活動の進め方 ヒューマンリエゾン 菊地章彦

毎日のカウンセリングで自分自身のスキルをどのようにレベルアップしていくか、悩みながら、工夫の連続です。現在、私が自分の練習課題にしているものが二つあります。

一つは聴く力のレベルアップです。童話や小説、随筆を選んで、文脈、言葉から、感情の流れを読み取り、その感情の流れを自分で表現する練習をしています。

二つめはケース全体の流れを「見通す」力をつける練習です。つまり、「見立て」ができるようになることです。私は健康管理部門でカウンセリングをしています。そこでは医療スタッフとの連携プレイでカウンセリングを実践しています。ケースについて、カウンセラーが何をしているのか、テーマが何であり、どのように終結していくのか、現在は何の地点にいるのか、予測をたてながら毎回のカンファレンスでは、スタッフにお話をしています。他の専門スタッフが理解できるように話せるのがプロだと、私は考えています。

今回の研修では、「言葉(文章)から感情の流れを読み取る練習」と「初回面接記録からケース全体の見立てをする練習」を皆さんとしたいと考えています。



B キャリア理論の実践への応用と展開 法政大学 当学会副会長 宮城まり子

キャリアカウンセリングの背景には、多様な理論が存在しています。キャリアカウンセリングにおいて、まずクライアントを適正に理解し、クライアントが抱えるキャリアに関する問題の解決支援を行うためには、キャリアカウンセラーとして、次のような2つの理論の理解が欠かせません。

それは、①カウンセリングの諸理論、②キャリアの諸理論の2つです。キャリアカウンセリングを実施するなかで、これらのカウンセリング理論とキャリア理論の2つの理論を統合することが欠かせません。クライアントの抱える問題内容に応じて理論を選択し、実践的に応用しながら、カウンセリングを展開させることによって、キャリア支援を効果的に行うことが可能になります。

しかし、現実には「理論は理論」として学び、その理論をどのようにキャリアカウンセリングの現場で応用するかについては、これまでなかなか学ぶ機会がないのが実際ではないでしょうか。そこで、この講座では、キャリア理論をカウンセリング場面でいかに実践的に活用し、キャリアカウンセリングを展開するか、その方法などについて、事例に基づくロールプレイも行いながら、具体的に学ぶことをねらいとします。キャリアコンサルタントの養成講座の内容をレベルアップし、キャリアコンサルタントの更なる質の向上をはかることを講座の目的とします。

<事前の学習課題>

すでにこれまでに学習されたカウンセリング理論、キャリア理論を、事前に少し復習し整理をしておいていただくと、講座での学びの効果が深まることと思います。宮城まり子著『キャリアカウンセリング』(駿河台出版)をテキストとして使用いたしますので、事前にキャリア理論の部分に目を通していただくと、ここでの学習効果を高めることが可能と思われる。



C 自己効力感を高める生活分析的カウンセリング 東京福祉大学 当学会元会長 松原達哉 日本カウンセリング学会前会長

働いている人の中には、自分を見つめて、どのような能力や性格があって、社会に役立つか、自信をもっている人と、自己卑下している人がいます。生活分析的カウンセリングは、自己を見つめ、無気力から意欲へと考え方を変化させ、やる気を起こさせる方法です。

- (1) 自分の短所を長所にする方法
- (2) 20の私(Who am I?)
- (3) 人生線(If life line)を書いて、今自分は何をすべきか、自己反省して、意欲的に生きる方法を身につける技法

(LAC法: Life Analytic Counseling)です。

(4) 材料は、LAC用紙、青いシール、赤いシール、LAC図の見本図

(5) 方法 第1段階から第10段階まであり、既在のカウンセリング法とはかなり違ってわかりやすく楽しくできる方法です。

(6) 私が独自に開発して、現在、日本、中国、タイなどでも活用されています。中国には20年間毎年招待されて、各大学、各地で公演に行っております。2010年も2回北京に講演に行ってきました。

(7) NEET、フリーター、ひきこもり、不登校、通勤拒否気味の人にも意欲を起こさせる方法です。

(参考文献)

松原達哉 2006 生活分析的カウンセリングの理論と技法 培風館

松原達哉 2010 生活分析的カウンセリングの開発に関する研究 風間書房

第2回 特別セミナー (第1日) 平成23年2月5日(土)

A 失業のカウンセリング 大正大学 廣川 進

再就職活動中の方がこんな夢を見たと言ってくれました。「いつもどおり営業先で名刺を出そうとしたら、名刺入れには他人の名刺ばかりで自分の名刺が1枚もなかった。恥ずかしいやら情けないやらで、うなされて起きた」。

名刺が象徴するのは職業アイデンティティ。まさにIDカードです。アイデンティティは名刺(だけ)にある、という人も日本人には多いのではないのでしょうか。

失業はひとつの重大な対象喪失です。長年勤めた愛着ある会社を失う。地位や肩書きを失う。収入や信用を失う。プライドや自信を失う。そのとき本人とその周囲にどのようなことが起こるのでしょうか。失業とほぼ同時期に配偶者が入院したり、子どもが不登校になったりすることもまれではありません。ストレスも高くなりメンタル不調になることもあります。キャリアとメンタルの連立方程式のようなケースもあります。彼らが立ち直るための支援には何が必要でしょうか。

再就職支援会社で心理カウンセラーとして支援をした経験と調査研究をもとに「危機・転機」の中で「喪失から再生」へのカウンセリングのあり方を、具体的な事例をもとに考えます。

自分史年表を作りながら半生を語る(ナラティブ)、夢やイメージのちからをかり等、相手に合わせたアプローチの紹介もします。

参考図書: 廣川進 2006 失業のキャリアカウンセリング～再就職支援の現場から～ 金剛出版

B ナラティブカウンセリングの考え方と進め方 立正大学 当学会副会長 楡木満生

ナラティブ(narrative)とは、「物語」(ものがたり)または「物語ること」(ものがたること)と訳されます。したがってナラティブ・セラピーとは、物語療法のことといえます。この療法は、1990年代以降にできた最も新しい療法の一つであり、いままでも家族療法をやっていた治療者たちがこの考え方を進める中心になっています。

人は、自分の身の上や人生を語るときに、過去においておきた出来事を全部述べることはできません。誰でも人に説明するのに自分の人生ストーリーにあった出来事だけを選び出して語ります。クライアントが悩むのは、自分の意図した人生ストーリーと過去の出来事がうまく合致しないために無理して合わせようとして過去の出来事を否認したり、歪曲したりしているためです。これを治療していくために、アンダーソンらは治療者が「無知の姿勢」でのぞむことが必要であると説きます。「無知の姿勢」とは、治療者は何でも知っている専門家の姿勢ではなく、実はクライアントの人生については何も分かっていないことを告げてクライアントに白紙の状態に臨むことを言います。さらにマイケルとエプストンは、クライアントの問題を「外在化」してクライアントの人生そのものから切り離すことが重要であると述べています。

このようにナラティブ・セラピーには、いまままでにないいくつ

もの新しい考え方があり、この講座ではそれらを紹介します。

<参考図書>

C. ホワイト、D. デンボロウ著、小森康永監訳、2000
ナラティブ・セラピーの実践 金剛出版
野口裕二、2009、ナラティブ・アプローチ、頸草書房
マイケル・ホワイト、デビット・エプストン著、小森康永訳、
1992、物語としての家族 金剛出版

C 産業カウンセリングにおけるメールカウンセリングの活用 —その理論、実践—

跡見学園大学 宮崎圭子

インターネットの成長は驚異的です。

国際電気通信連合 (International Telecommunication Union :ITU) によると、世界のインターネット利用者は2010年内に20億人に達する見通しとなりました。

カウンセリングの世界においても、面接、電話以外の第3のツールとして、メール(ウェブ)カウンセリングがじわじわと浸透しつつあります。アメリカでは、公的機関の倫理綱領にもうすでにメールカウンセリングの項目が掲載されています。日本においても、その利便性からか、また遠隔地からのアプローチも可能ということからか、特に、産業・キャリアカウンセリングでの領域に一定の地位を確立しつつあります。

しかしながら、メールカウンセリングに対する体系だった研修はなかなかお目にかかることができません。実は、基礎的研究、応用的研究がまだまだ多くなされていないのです。むしろ、現場の方が、必要に迫られて、試行錯誤しながら走っているというのが、実際のところのようです。

本セミナーでは、メールカウンセリングが普及しているアメリカの現状、日本の現状、また、メールの特性故の問題も絡めて、実践的な研修を提供したいと考えています。効果的なメールカウンセリングの技法が学習できるよう、エクササイズを用意しています。応用可能なものとして、レターカウンセリング、書記的カウンセリングにも触れてみたいと思います。事前の準備として、メールカウンセリング、面接のカウンセリングの違いを考えてきて下さい。

(第2日) 平成23年2月6日(日)

A 「人生の道」を探究する プロセスワーク 明治大学 日本トランスパーソナル学会会長 諸富祥彦

先進諸国でうつが進行しているのは、成熟社会の中で私たちが生きる意味と方向の感覚を感じ取るのが困難であるためです。アーノルド・ミンデルが創始したプロセスワークは「道の自覚(パス・アウェアネス)」を高めていくことで、各自がみずからの「たましいの道」を感じ取ることがこの問題の解決に益すると考えています。

また、各自が「たましいの生活と一致した仕事」を見出すことが深い幸福感の獲得につながっていく、と考えるならば、

また、キャリアカウンセリングが、クライアントが深い納得感を抱いたキャリアの発見を援助するものであるためには、「人生の道」の感覚を育てていくことが不可欠になってきます。「人生の道」のワークは、スピリチュアルなキャリアの探索のための最新のアプローチです。

ミンデル著『大地の心理学』が参考になる唯一の著書です。本来ならば最低2日間は必要な内容ですので、ほんのさわりだけ、体験していただくことになると思います。こころを空っぽにしてご参加ください。

B 自己カウンセリングとアサーション 統合的心理療法研究所 東京福祉大学大学院 平木典子

職場、家庭、そしてコミュニティでつながりと支え合いが薄くなっている現代社会で、いま必要なことは、自分の潜在力も含めて自己成長の道を探ることと、その方途の一つとして自らが他者とつながり、互いに持つリソース(資源)を分かち合うための心と技を身につけることでしょう。

アサーションはより健やかな自己確立とつながりのコミュニケーションにヒントを与えてくれます。

本セミナーでは、自己成長とつながりへのアサーションの活用について、演習を交えながら考えていきます。

事前学習には『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』(金子書房)を勧めます。

C 産業カウンセリングと精神医学 白梅学園大学 尾久裕紀

産業現場でのメンタルヘルス不調者は年々増加傾向にあります。産業カウンセラーのもとにも様々な相談が持ち込まれます。すでに精神疾患を患っている人が相談に来る場合、そのときの精神状態を考慮しながら対応する必要があります。服薬中の薬の影響についてもある程度知っておく必要があるでしょう。精神的不調が実は薬の副作用であったということもあります。また不安やうつに関する相談もあるでしょう。その際、見立てとして、クライアントが専門医による治療、特に薬物療法が必要か否かの判断が要求されることもあります。このような場合、医療との連携は重要ですが、カウンセリングに携わる人は、ご自分でも基本的な精神医学の知識は知っておく必要があります。

今回のセミナーでは、「最近のうつ病」を含めた「気分障害」をはじめ、「適応障害」「パーソナリティ障害」「統合失調症」「器質性・症状性精神障害」「発達障害」など職場で遭遇する可能性のある精神疾患について理解を深めるとともに、カウンセリングに訪れたクライアントの初期の見立てとその後の対応、医療との連携方法について学びます。

セミナー受講にあたり、ご自分のこれまでの経験を振り返り、今後どのような精神医学の知識が有用か整理してみてください。

新入会・退会状況

平成22年11月26日

入会者

最勝寺 広貴	新藤 恵悟	辻 まゆみ
西尾 久子	松島 一平	安井 元美
藤田 智也	大貫 雅代	林 美幸
畑 英理	古橋 孝志	佐久間 千雅
迫 加奈	内田 力	川端 清江
西村 礼子	斎藤 真一	岩崎 修司
土井 晶子	永井 義信	北川 佳寿美
古市 好文	清水 良子	
小林 英子	横山 都子	

退会者

勝田 みな	川村 昌子	佐川 友則
三尾 真由美	森 紀男	
田口 英雄	伊藤 美代子	

サテライト研究会
中国・四国地区学習会 共通申込書
九州地区学習会

この申込書は、サテライト研究会、中国・四国地区学習会、九州地区学習会の共通申込書です。
いずれかに○をお付けください。(複数可)

**サテライト研究会
中国・四国地区学習会 九州地区学習会** に申し込みます。

日本産業カウンセリング学会
事務局行
FAX : 03 - 5228 - 4418
e-mail : info@jaic.jp

(フリガナ)

名前 _____

〒

住所 _____

電話 _____ 自宅・勤務先 (いずれかに○)

連絡先のメール・アドレス: _____

いずれかに○をしてください

会員 () 非会員 () 学生 (社会人学生を除く) ()

通信欄: